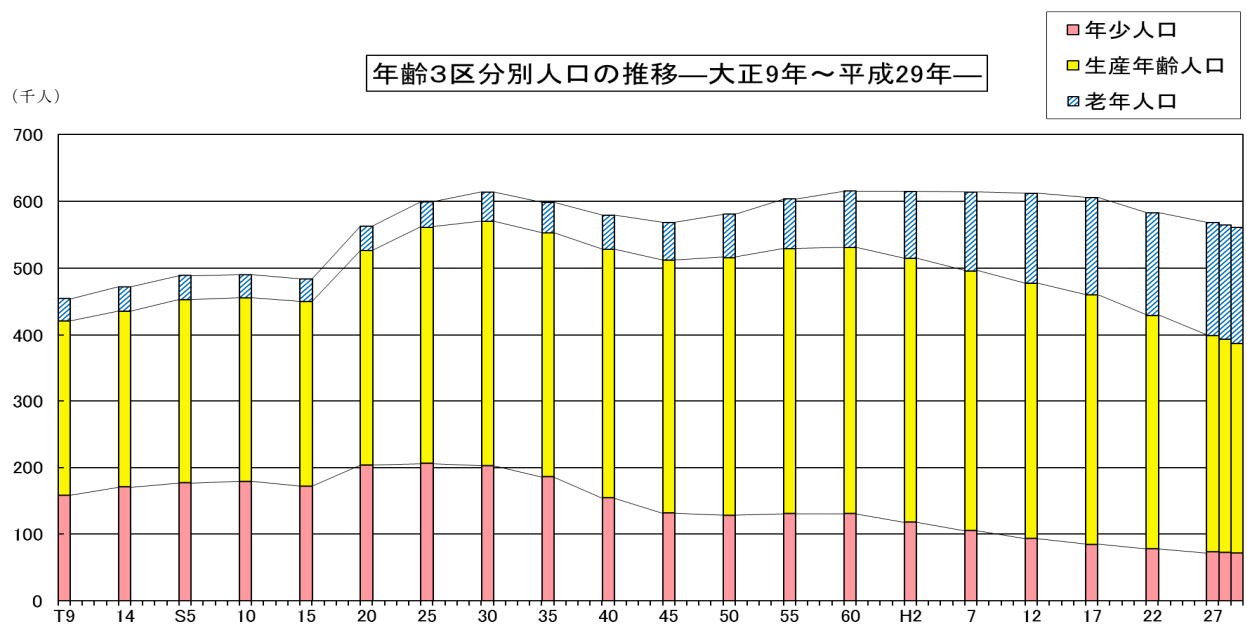
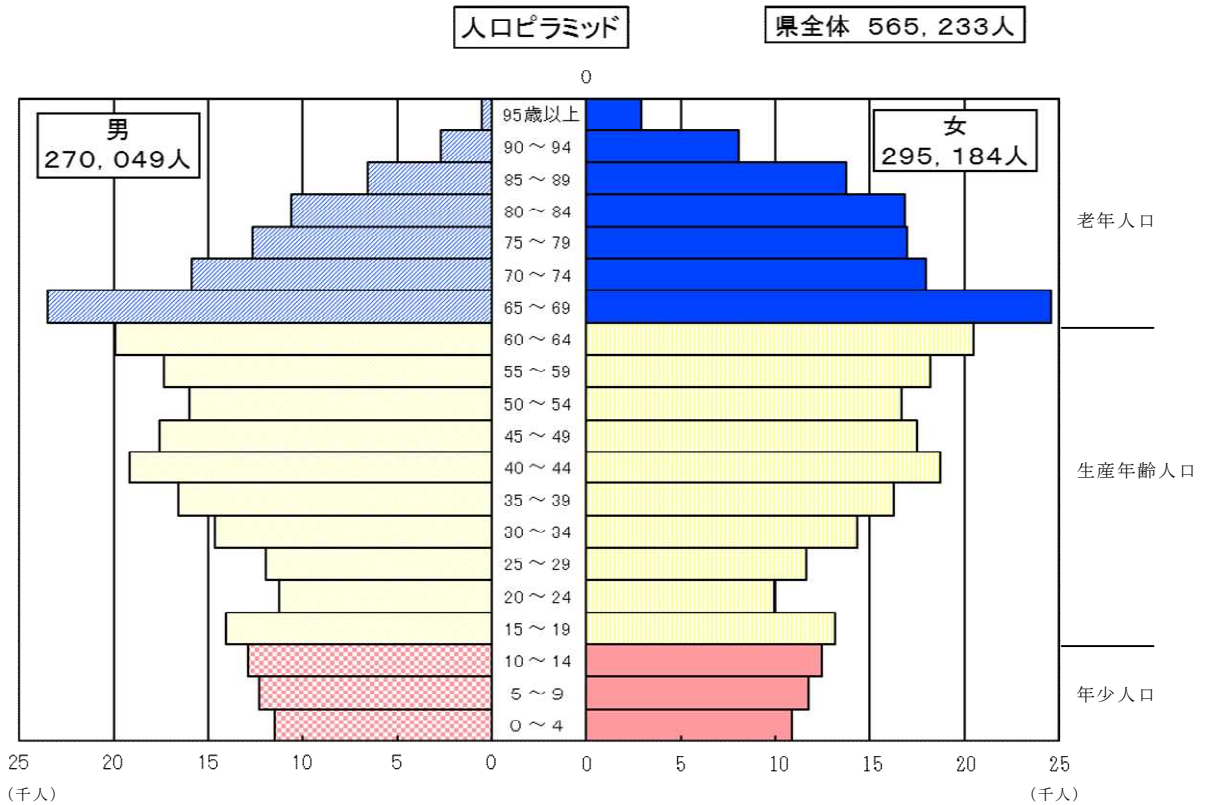


1 鳥取県の人口構成

年少人口割合は12.8%で過去最低、老年人口割合は30.9%で過去最高

鳥取県の人口を年齢3区分別にみると、年少人口は71,766人で前年と比べ988人減少、生産年齢人口は315,542人で5,390人減少、老年人口は173,562人で2,032人増加している。

人口構成割合を前年と比べると、年少人口は12.8%で0.1ポイント低下し、過去最低となった。生産年齢人口は56.3%で0.5ポイント低下した。老年人口は30.9%で0.6ポイント上昇し、過去最高となった。（統計表第1表）



注) 大正9年から平成27年までは国勢調査値、平成28年以降は平成27年国勢調査を基準として推計したものである。

2 市町村別の人口構成

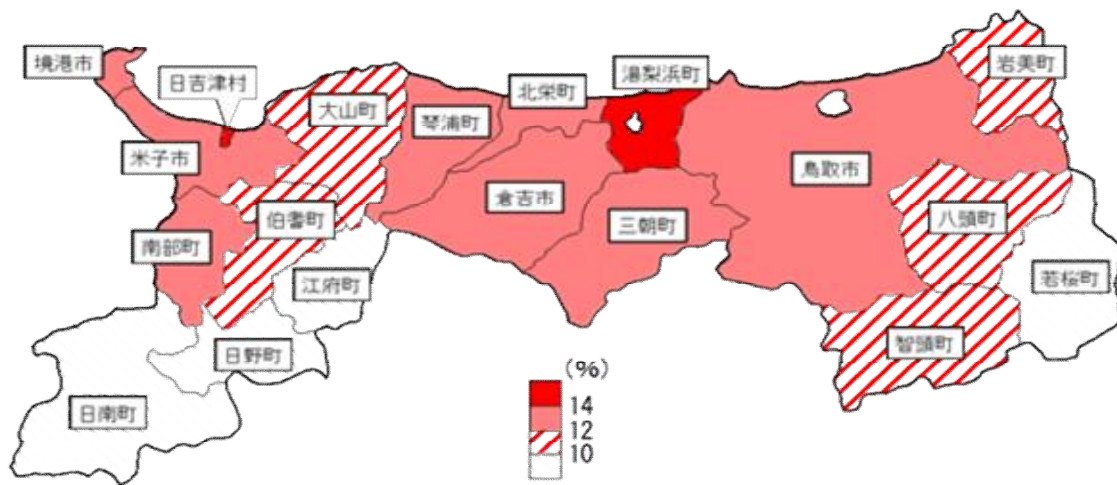
老年人口割合が全市町村で上昇し、日南町で50.9%と初めて50%を超過
 智頭町、三朝町、日吉津村及び伯耆町で年少人口割合が上昇
 生産年齢人口割合は全市町村で低下

市町村の人口を年齢3区分別にみると、年少人口割合は日吉津村が15.2%と最も高く、次いで湯梨浜町が14.0%、米子市が13.5%、鳥取市が13.2%などとなっている。前年と比べると、智頭町、三朝町、日吉津村及び伯耆町で上昇、倉吉市、岩美町、若桜町、大山町、南部町及び江府町で同水準、その他の9市町で低下している。

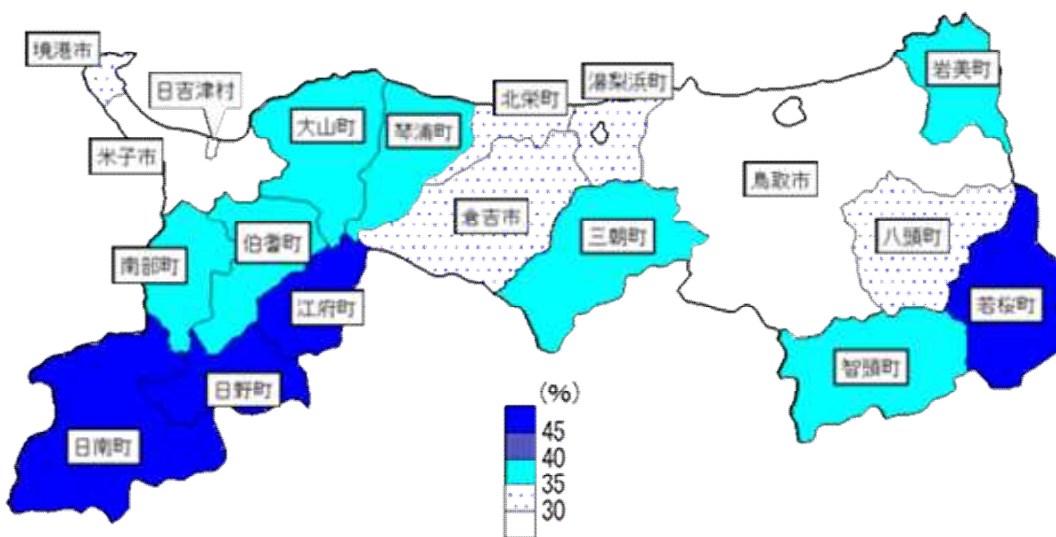
老年人口割合は日南町が50.9%と最も高く、次いで日野町が48.7%、若桜町が46.4%、江府町が46.1%などとなっている。前年と比べると、全市町村で上昇した。

一方、生産年齢人口割合は全市町村で低下した。（統計表第4-2表）

市町村別年少人口割合



市町村別老年人口割合



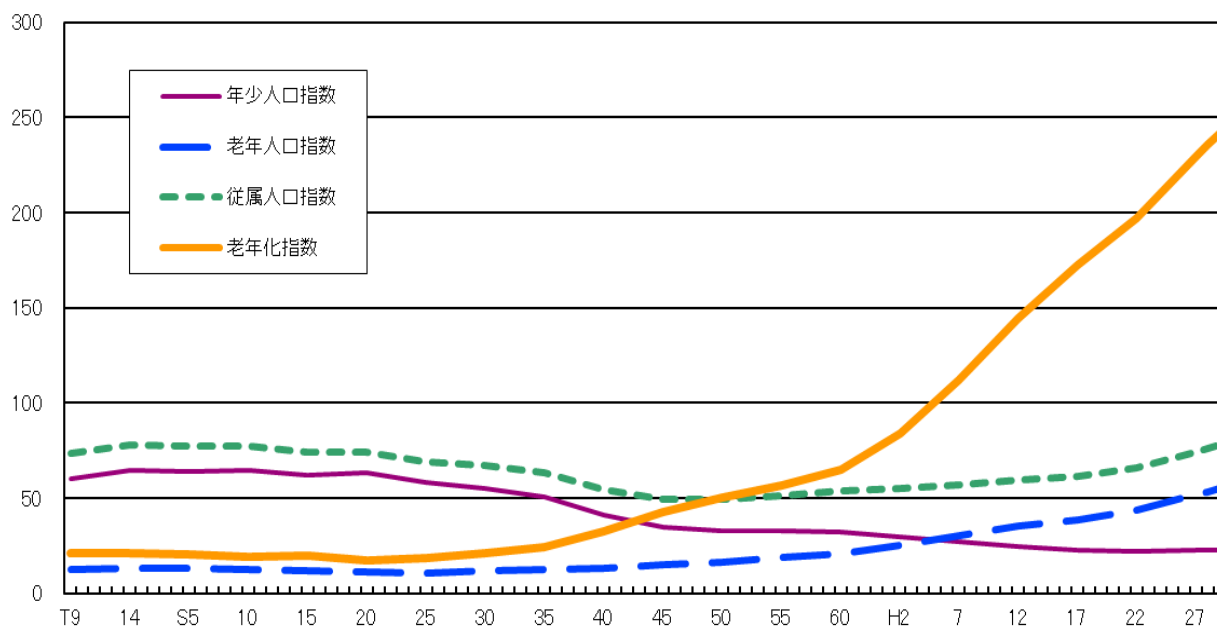
3 年齢構成指数

老年人口指数は55.0、老年化指数は241.8となり、ともに過去最高

鳥取県の人口を年齢構成指数別にみると、年少人口指数は22.7で前年と同水準、老年人口指数は55.0で1.6ポイント上昇、従属人口指数は77.7で1.6ポイント上昇、老年化指数は241.8で6.0ポイント上昇した。

老年人口指数及び老年化指数は過去最高となった。（統計表第1表）

年齢構成指数の推移—大正9年～平成29年



注) 大正9年から平成27年までは国勢調査値、平成28年以降は平成27年国勢調査を基準として推計したものである。